予防接種の安全対策

Safety management for vaccination accident

はじめに

当院では皆様に安心して予防接種を受けて頂くため、予防接種外来で報告されたヒヤリハットをその都度分 析し、業務改善を重ねてきました。特に乳幼児のワクチンは種類が多くスケジュールも過密です。当院の予 防接種業務における医療事故防止対策を御紹介致します。

方法

【1.予約者の管理】

接種者の対象年齢や接種間隔の間違いが ないよう、各個人別に管理しています。

顧客管理データベース

1)予防接種の予約は、当院独自で開発した顧客管理データ ベースに入力し、管理を行っています。





別の画面では、各個人の当 院における過去の接種履歴 や、今後の予約状況を確認す ることができます。

-人お一人、各ワクチンの 対象年齢か、接種間隔に間 違いがないかどうか、予約時 だけでなく、接種前にも再度 チェックしております。

体調不良などで、接種が延期になった場合は、延期者 リストに自動的に反映されます。

予約カレンダー

2)予約情報はカレンダーに自動反映され、日別・種別の予 約人数を画面上でスタッフが情報共有でき、ワクチンの発 注も確実に行えます。

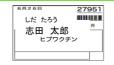


【2.誤認防止対策】

接種者やワクチンの種類の取り違えが絶対にな いよう、誤認防止対策には特に力を入れています。

呉認防止カード

1)ワクチンを接種される方にお渡し、取り違えを防止しています。



誤認防止カードは予約者一覧表から発行しておりますので、 スがないという利点があります。カードは、問診時もしくは診察 終了時に接種者にお渡しております。

2)診察室では、医師と看護師が誤認防止カードの内容を確認致します。

iPadを用いた誤認防止(予約情報はiPad上に表示) 3)診察終了後、カルテロとワクチンの箱の商品認識バーコードチンを準備 1. 接種致します。

①カルテIDのバーコードを読み込む



②ワクチンのバーコードを読み込む





③接種者と予約したワクチン に相違なければ許可サイン が出ます。







④許可サインを確認後、医 師にワクチンを渡し、接種 が行われます。

当院では事故がないように予防接種を実施するため、原則として予約制にさせていただいております。 接種当日は予診表と母子手帳の確認、診察・接種時の誤認防止カードの確認を実施しております。 より安全で確実な予防接種が行えるよう、今後も安全対策に力を入れ、取り組んでいきます。 ワクチンで予防できる病気は可能な限り予防しましょう。